

平成30年度 第1回熊本市障がい者自立支援協議会

日時 平成30年5月18日（金） 午後3時から

会場 熊本市役所別館自転車駐車場8階会議室

出席者 後藤委員、秋成委員、大島委員、谷口委員、守田委員、園田委員、平田委員、中島委員、大山委員、田尻委員、山田浩三委員、平川委員、江島委員、堀内委員、永井委員、福島委員、原田委員、篠原委員、勝本委員、多門委員、西委員、宮田委員、本田委員、干川委員、山田勝久委員

欠席者 松村委員、森下委員

配布資料

- ・次第
- ・委員名簿
- ・席次表
- ・平成30年度 熊本市障がい者自立支援協議会日程
- ・第5期熊本市障がい福祉計画
- ・資料1 熊本市障がい者プランの策定について
- ・資料2 精神障がい者の退院後支援について
- ・資料3 各部会報告資料
- ・資料4 委託相談支援事業所報告資料
- ・資料5 高齢者及び障がい者の社会参加促進等に関する検討会及び部会の設置について
- ・資料6 熊本市障がい者相談支援センターモニタリング結果
- ・資料6（別紙）熊本市障がい者相談支援センター利用実績
- ・資料7 熊本市障がい者自立支援協議会で取り扱う課題一覧
- ・資料8 震災対処実働訓練【福祉（子ども）避難所】の実施について
- ・平成30年度第1回熊本市障がい者支援協議会 委員事前意見・質問一覧
- ・リーフレット 「手伝うけんね 退院への第一歩」
- ・リーフレット 熊本市障がい者相談支援センター アシスト
- ・おとなりマルシェのチラシ

議事

進行	<p><b>1 開 会</b></p> <p>ただ今より、平成30年度第1回熊本市障がい者自立支援協議会を開会いたします。本日は松村委員、森下委員よりご欠席のご連絡をいただいております。</p> <p><b>2 事務局挨拶</b></p> <p>事務局挨拶といたしまして、障がい者支援部長の山崎広信からご挨拶申し上げます。</p>
山崎部長	<p>只今紹介にあずかりました、熊本市の障がい者支援部長の山崎と申します。約半分くらいの方はお見知りの方で、大変懐かしい気持ちでここに立っているところです。もちろん初めての方もいらっしゃるのので改めて自己紹介させていただきますが、私は平成28年3月までに障がい保健福祉課長として2年前まで在任しておりました。その時在任期間は2年でありまして、その時からこの自立支援協議会でさまざまなご意見、議論を頂戴いたしまして、大変障がい福祉の多様で難しく奥が深い世界に浸らせて頂いたというか、そういった所に身を置かせていただきました。2年ぶりにここに帰ってまいりまして、課題一覧が資料の中にありますけれども、やはり難しい課題が今もって山積しているというところは変わっていないというふうに思っています。私が前任時代なかなか解決できなかった事もまだあるようでございます。ここに帰って参りましてこれからの期間、ここにおられる皆様方の様々なご意見を頂戴しながら、また皆様方で様々な意見交換をして頂きながら、障がい福祉に関して少しずつでも前進していければというふうに考えているところですので、皆様どうか宜しく願い申し上げます。</p>
進行	<p><b>3 委嘱状交付・委員紹介</b></p> <p>次に、熊本市障がい者自立支援協議会委員への委嘱についてでございます。今年度新たに3名の方に委員にご就任頂いております。委嘱状につきましては、市長から直接お渡しすべきところでございますが、机上配布とさせていただきます。では、お一人ずつご挨拶頂きたいと思っております。</p> <p>まず、熊本市障がい者相談支援センター チャレンジの後藤純子様でございます。</p>
後藤委員	<p>熊本市障がい者相談支援センター チャレンジの後藤と申します。どうぞ宜しくお願い致します。</p>
進行	<p>次に、熊本市障がい者相談支援センター さいせいの守田栄蔵様でございます。</p>
守田委員	<p>はじめまして。西区にあります熊本市障がい者相談支援センター さいせいの守田と申します。宜しくお願いします。</p>
進行	<p>最後に本日ご欠席ではありますが、熊本公共職業安定所の森下一浩様でございます。</p>

	<p><b>4 事務局紹介</b></p> <p>次第4、事務局紹介につきましても、議事の都合により、本日の熊本市障がい者自立支援協議会委員名簿への記載をもって紹介に代えさせていただきます。どうぞご了承ください。</p> <p>それでは、協議会の議事に移らせていただきます。これからの進行は干川会長にお願い致します。</p>
干川会長	<p>こんにちは。本日も委員の皆さんのご意見を頂きながら進行していきますのでご協力をお願い致します。それでは早速議事に入ります。</p> <p><b>5 議事</b></p> <p>1. <b>新たな取り組み等の概要紹介について</b></p> <p>■熊本市障がい者プランの策定について</p> <p>■精神障がい者の退院後支援について</p> <p>事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	資料1、資料2 説明
会長	ただ今2つの取り組みについて説明がありましたが、ご意見等ありましたらお願いします。
宮田委員	<p>熊本市心の障害者家族会の会長の宮田です。</p> <p>やまゆり園の事件は、私達家族会にとっては40数年間の努力を一夜にして吹き飛ばすというような事件でした。と言いますのも、あの事件後、世間の風潮は精神障がい者は十把一絡げでそのような事件に国民を巻き込むものだというような流れが一方である訳です。そういったことを皆さんには踏まえておいていただきたいなど。</p> <p>我々としては40数年間先輩が頑張って作ってきた施策も含めた色々な家族会の活動、当事者の活動も非常に厳しい状況にいまだにあるというふうに認識しております。</p> <p>今高取さんの方からご説明があった部分ですけれども、これは誰が担当し費用はどうなるのかということについて概要をご説明いただけませんか。</p>
事務局	自治体が主体的に会議や調整を行うという事になりますので、市が担当という事になります。ただし、実際の支援というのは、医療機関や障がい福祉サービスの事業者さんが協力して支援をしていくという形、現状と同じではございますが、そういった形になっていくと考えております。そういった部分につきましては従来どおり、そのサービス報酬、診療報酬といった中での費用負担という事になります。
宮田委員	そこなんですけれども、現行でも一般相談支援事業所と計画相談支援事業所と二通りありますね。どちらがどのように関わっていくかというのが、非常に線引きが不明確でありますので、その方がもし福祉サービスを使われる場合は計画相談

	<p>支援事業所が関わっていくわけですね。その場合に退院する時のカンファレンスについての費用は、私は保証されていないと考えています。</p> <p>例えば、私達熊本の西の方にある相談支援事業所は、例えば菊陽病院や弓削病院のような東に行くとしたと片道50分かかるんですね。往復で100分、会議が60分ないしは70分、そうなった時のカンファレンス会議に出た費用は計画費用の中には含まれていないと我々はみえています。そういった費用を補ってもらわないと、とてもカンファレンス会議に出られないです。経営問題です。</p> <p>そういったことも含めて、カンファレンス会議に出た場合にどういった手当があるのかということも、本来は検討して策定されるべき政策だったと考えますが、熊本市はどのように考えられますでしょうか。</p>
事務局	<p>退院後支援を行うことでの加算が一つ設けられていたと思いますが、資料を持ち合わせておりませんので、そこは確認を致しましてご報告をしたいと思えます。</p> <p>申し訳ございません。</p>
会長	<p>よろしいですか。その点は確認をしてからまたご報告ということなんですけれども。</p>
事務局	<p>計画相談支援事業所さんに30年度の報酬改定で、退院時や退所時に医療機関側とケース会議を行った場合に取れる加算というのが新しく設けられましたので、その事についてご報告させて頂きたいと思えます。</p>
会長	<p>よろしいでしょうか。後でその資料も提供させて頂きたいと思えます。</p>
事務局	<p>今、宮田委員からお尋ねがあった件ですが、私昨日、今日で政令市の集まりである大都市会議に出ておりまして、そこに厚生労働省の職員さんが行政説明ということで入られたのですが、特に退院後支援について述べられた訳ではないんですが、今度改定でいろんな新しいものが出ているんですが、そこに出たときに、国としても確たるものを持ってやられているというのではなくて、走りながら確認をしていくというのもまあまああるという事を言われていたんですね。おっしゃる事は確かにその通りだと思うのですが、今後いろんな部分で我々も意見反映を国に対して上げさせて頂くということをとらせて頂きたいと思っておりますので、またいろいろ聞かせて頂きたいと思えます。宜しく願い致します。</p>
宮田委員	<p>意見です。加算が出ているのは存じ上げています。あまりにも実数に見合わない時は拒否していいのかということだけを厚生労働省に聞いてください。お願いします。</p>
会長	<p>よろしいでしょうか。ではそこも確認して頂くということで。</p> <p>他、いかがでしょうか。</p>
篠原委員	<p>不勉強で申し訳ないんですけれども、この計画の作成は自治体が退院後支援を行う必要があると認めた者となっているんですが、その根拠は医療行為の範囲だ</p>

	<p>と思うので、ドクターが自治体にこの人の計画を立ててくださいというふうに言うのか、計画策定に至るまでの手順が今一つこれだけの文章だと分からなくて、教えてください。</p>
会長	<p>いかがでしょうか。計画策定の手順ということなのですが。</p>
事務局	<p>おっしゃる通り、入院されている患者さん全てを私共が把握する事はできませんので、実質的には病院から、「こういう状態の方が退院されます」という相談を受けてから病院のカンファレンスを元に計画を策定していくという事を想定しております。</p>
篠原委員	<p>今まで、病院でも退院に絡む時に社会資源等々と連携を取りながら、退院に向けてアプローチしていたと思うんですけど、そこに行政の計画も新たに入りますよということでもいいんですか。</p>
事務局	<p>これまでもケース会議が開かれておまして、その中でご参加頂いていたと思うんですが、どちらかというそれは病院が主体となって呼びかけをしていたと捉えております。今回はそれを自治体が呼びかけて、計画を作るというものになるというふうに理解しております。</p>
会長	<p>よろしいでしょうか。では他いかがですか。特になければ次に移りたいと思います。</p> <p><b>2. 各部会報告</b></p> <p>各部会報告資料の1枚目に自立支援協議会本会議と部会の関係のイメージ及び部会構成について掲載してありますので、各自でご確認頂きたいと思います。それぞれの部会報告を子ども部会、就労部会、相談支援部会、精神障がい者地域移行支援部会の順にお願いします。それぞれ部会の持ち時間は5分といたします。子ども部会については、今年度部会長の変更があったとのご報告を受けております。まず、子ども部会長の西委員からお願いします。</p>
西委員	<p><b>【子ども部会】</b></p> <p>今年度振り返りました。部会長になりました熊本市手をつなぐ育成会の西と申します。どうぞ宜しくお願い致します。</p> <p>では子ども部会の報告をさせていただきます。前年度の部会の取り組みについては、「余暇支援マップ」の更新作成を行ったのを始めとしまして、ミニ研修としまして7月、養護施設、乳児院より「養護施設及び乳児院における障がい児等の現状と課題」について講話を頂きました。やはり養護施設とか乳児院には一定数以上の障がい児がいるということなので、そこからお話を頂いたということです。9月に熊本市教育委員会総合支援課から「移行支援シート運用の実際と巡回相談員の役割について」の説明を頂きました。1月に元江津湖療育センター障がい児地域医療コーディネーター、地域療育部長で子ども部会長をされていた尾道幸子氏より講話をお願いしたところです。</p>

	<p>次に、今年度の部会運営についてですが、昨年度の事例検討で抽出された課題や、新たに検討事例として挙げたものを整理し、本会議に提案して、市施策へ反映させられるようまとめていきたいと考えております。</p> <p>他にミニ研修を年に4回程度開催予定でございまして、新制度の枠組みの中で熊本市で新たに始まったサービス等を展開している事業所や、学校の関係者にお話を伺ったり、説明をして頂く予定になっております。</p> <p>事例検討は、ほぼ2ヶ月に1回程度と考えておりまして、毎回の部会の中で事例検討を希望する事業所がないかを確認して、次回の事例検討をお願いするという形になると思います。以前に検討された課題のその後の進展なども振り返りも行っていきたいと思っております。</p> <p>余暇支援マップの更新ですが、震災の影響もまだ残っている所がありまして、建物の被害によりカリキュラムが変わったり、それ以外にも休業日や開始時間が変わる場合もあるかもしれないということで、年度初めに手分けして内容を電話で確認したり、メールで確認したりして更新していくつもりでございます。</p> <p>その他、自立支援協議会本会議後の直近の部会で本会議に出た内容を本会議出席者より紹介し、共有することに努めたいと思っております。</p> <p>裏面は今年度の子ども部会のスケジュールです。5月までは終わっておりますので、ご覧頂いた通りの予定にしております。中でもいずれかでございますが、湧心館高校で今年から始まった通級支援の取り組みについてお話を伺いましたり、公立幼稚園の通級支援「あゆみの教室」についても、総合支援課にお尋ねするつもりでございます。日程につきましては一応7、8、11月に上げてはおりますけれども、相手方の予定をお尋ねしてから時期的にはずれる可能性があるかと思っております。以上でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では次に就労部会部会長の山田浩三委員からお願いします。</p>
山田委員	<p><b>【就労部会】</b></p> <p>本年度も大変お世話になります。就労部会長を務めさせていただいております山田でございます。引き続き宜しくお願い致します。</p> <p>私共の部会は、目標を参加しやすくなじみやすい就労部会とし、各班の参加者の方の構成をあらかじめ決めているものではございませんので、誰でも参加していただいているような意見を語っていただいて、皆で熊本市の障がい者の就労を考えいくといった取り組みを普段から大切にしております。</p> <p>昨年度は班の構成としまして4班でしたが、今年度はバリエーションを増やして6班構成となりました。特に企業就労班では障がいのある方の企業就労をもっと進めていきたいということで、就労フェアの中で障がい者サポート企業の登録認定を熊本市とさせて頂いたり、実際企業の方に来て頂いてお話をさせて頂いたり</p>

	<p>しました。企業就労班では毎年障がい者雇用の啓発活動の一環として「しごといく」という冊子を作っております。今年度はVol.7ですので7冊目になります。皆さん、大変頑張って取り組んでいます。</p> <p>昨年も販売会で大変お世話になりました。事業所ネットワーク班（旧福祉就労班）で今年度も昨年以上に販売会を行いたいと思っています。熊本市と協力しながら「おとなりマルシェ」の活動をさせて頂くことを大変嬉しく思っております。</p> <p>時には50名以上部会に参加され意見の集約に苦慮するため、毎月1回運営委員会を開き、それぞれの班のリーダーやサブリーダーの皆さんの話を聞きながら、今後の部会をどのように進めていったらいいか考えております。今年は昨年以上にパワーアップするのではないかと考えている次第です。</p> <p>詳しい事はお手元の資料をご覧頂くと大変有難いと思います。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。では次に相談支援部会の平田委員からお願いします。</p>
平田委員	<p><b>【相談支援部会】</b></p> <p>相談支援部会の部会長をさせて頂いております平田と申します。相談支援部会は今年度の年間計画表を添付させて頂いておりますので、それを基に今年度の予定をご報告させて頂ければと思います。</p> <p>全体の目標としましては3つありますが、1つ目、2つ目は昨年度と変わりありません。要約しますと課題の集約や整理を行いながら、障がいのある方、ご家族が安心して地域で生活できる環境を作るということと、それを支える相談支援専門員のスキルアップ及びフォローアップをやって行く。3つ目が今年度新たに加えているものになります。皆さんご存知のように、平成30年度から大幅な報酬改定と法改正がありましたので、それについて障がい保健福祉課の方と協働しながら検討していくという全体目標をひとつ加えております。</p> <p>1 ページ下段、相談支援部会の班は今年度は5班で構成しております。昨年度も5つでしたが、その中でも、「計画見直し班」と「インフォメーションアップデート班」を平成30年度は一旦やめて新たに、「拠点整備班」と「法改正に伴う運用検討班」を設置しまして、合計5つの班に分けて毎月協議を行っていくというふうに考えております。相談支援部会構成図というところに、障がい保健福祉課のお名前と区役所担当者のお名前を加えていますが、今年度に限らず今までもずっと障がい保健福祉課の方には大変世話になりながら様々な課題を協議してきましたので、お名前が無いのは寂しいなと思って今年度は付け加えさせて頂きました。「法改正に伴う運用検討班」の所に区役所担当者として記載させて頂いておりますが、必要時には区役所担当者の方にも参加していただく予定としております。</p> <p>今年度、相談支援専門員のフォローアップ、スキルアップというところで、情報の共有は引き続きやっていきたいということと、昨年と若干違うのは、研修の</p>

	<p>企画を昨年度よりは多めにしているところです。早速先日1回目の研修を行ったところです。今年度は相談支援機能強化員会議とも連携を取りながら研修の企画を行っていきたいと思っております。</p> <p>相談支援部会開催にあたっては、障がい保健福祉課から2回ほどメールでスキルアップ・情報交換のためにも参加してほしいと案内を頂いておまして、5月の相談支援部会も多くの方に参加していただきました。あとは、相談支援事業所の方が参加して良かったと思えるような部会づくりをしていけたらと思っております。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。それでは最後に精神障がい者地域移行支援部会の大山委員をお願いします。</p>
大山委員	<p><b>【精神障がい者地域移行支援部会】</b></p> <p>精神障がい者地域移行支援部会の部会長をしております大山です。本年度もよろしくお願ひ致します。</p> <p>私の方から29年度の取り組みのご報告からしたいと思います。昨年度は長期入院精神障がい者への意向調査の結果を踏まえて地域移行支援制度の啓発に向けたポスターやリーフレットを作成しました。皆様のお手元にお配りしておりますけれども、この「手伝うけんね 退院への第一歩」というリーフレットを作成しました。前回はポスターのご紹介をさせていただいたところです。作成にあたりましては、作業班を設置しまして、部会メンバーの意見を参考に、わかりやすい文言を使ってマンガ形式の説明にすることで、制度を知らない方にも理解をしていただいたり、受け入れてもらえるように工夫しました。</p> <p>次にピアサポーターについてですけれども、積極的に活用する病院が増えてきて、入院患者さんとの交流の中で、ピアサポートの活動を行ったり、個別支援を通して退院への意欲喚起のきっかけづくりができた部会の中で報告がありました。</p> <p>部会メンバーに対しても定期的に研修を行いまして、地域移行支援のポイントや他地域の取り組みを学ぶことと、熊本市における障がい支援体制やサービス、相談支援事業の業務についても理解促進を図りました。そして、区毎の取り組みでは、熊本県と合同で開催しております地域移行支援研修会において、ロードマップの進捗状況を確認して、今後の活動を共有しているところです。</p> <p>30年度の事業計画ですけれども、大きく4つの項目を挙げて活動を予定しております。</p> <p>一つ目は退院支援ポスターの掲示及びリーフレット配布後の効果確認です。先ほどご紹介致しましたポスター、リーフレットを見られた患者さんの反応を見ていき、その結果を取りまとめていこうというところです。患者さんに対してだけでなく、支援者に対しての周知啓発にもなっていけばいいなと思っております。</p>

	<p>2つ目に指定一般相談支援事業所、高齢介護関係機関との交流です。周知不足と感じています、地域一般相談支援事業所や高齢介護関係機関に対して地域移行支援についての理解を深める機会を作っていきたいと思っております。</p> <p>3つ目に全体研修の企画・実施です。地域移行支援の基礎研修や、事例検討、法改正等もありますので、そういった情報の共有を行っていきたいと思っております。また、今年度も熊本県の地域移行支援研修会がありますので、ファシリテーターの研修などを通して人材育成を行っていく予定にしております。</p> <p>4つ目に区毎の地域移行支援への取組みと進捗報告です。毎年行っております区毎に作成しているロードマップの進捗確認を行っていくことと、各区から積極的に個別給付の申請を上げてもらいまして、地域相談支援のマニュアル作成の準備を進めていきたいと思っております。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。以上4つの部会から報告を頂きました。委員の皆さんからご意見やご質問がありましたらお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p><b>(3) 委託相談支援事業所からの報告</b></p> <p>この会議には、市内9ヶ所の熊本市障がい者相談支援センターから委員としてご参加頂いております。今年度からセンターの活動状況等について報告頂く時間を設けたいと思います。園田委員より報告をお願いします。</p>
<p>園田委員</p>	<p>皆さんお疲れ様です。今ご紹介頂きました障がい者相談支援センターじょうなんの園田といいます。</p> <p>後でモニタリングの話等々も出てくると思うんですが、委託相談支援事業所としてどういったことをやっているのか資料の4でご報告いたします。相談支援機能強化員会議報告ということで資料を1枚添付しております。裏面には区障がい福祉ネットワーク会議、2枚目にはネットワーク会議と障がい者自立支援協議会の関係図をあげております。</p> <p>実際に熊本市の委託相談支援事業所9ヶ所の相談支援機能強化員にお集まり頂いて会議を行っております。会議の開催としましては、原則毎月第3金曜日に市役所やウェルパルクまもとなどで会議を進めております。</p> <p>実際会議の内容としましては、中段に書いてありますが、各区の障がい福祉ネットワーク会議の進捗状況についてというところで、東西南北中央とそれぞれ5ヶ所の区で委託相談支援事業所が中心になって各区の福祉課と連携を図りながらネットワーク会議を行っていくということを取り組んでおります。そういったところでの進捗状況だったり、あとは委託ケースを皆さんで共有して知恵を拝借するという事で報告をしています。</p> <p>相談部会長の平田さんからお話がありましたけれども、今後相談支援部会と連携して研修会等をやれないかなというところで、まだ素案づくりはできていませ</p>

	<p>んが、そういった話が出ております。30年度に何かできればいいかなということです。</p> <p>あとは、各種課題の検討や、市のほうからの連絡事項など、会議の議題に沿って毎月行っているところです。</p> <p>30年度の取組みとしては、第1回目の会議の前に緊急事案ということで、現在計画相談の作成依頼等に関して各区の特定事業所や委託相談支援事業所で受け入れがすごく難しくなっているといった実情も踏まえて今後どのように対応していけばいいのかという事をまず機能強化員が集まって情報の共有をしました。</p> <p>そして第1回目の会議が4月13日に行われております。ここに関しては下に挙げている3つ議題について進めたところです。5月に第2回目の会議を行いまして、ネットワーク会議の進捗状況だったり、委託ケースへの対応、そして計画相談支援の今後について話し合いを行いました。</p> <p>今後の検討事項ということで2つ挙げていますけれども、1つ目には計画相談支援の対応について、特定事業所の新規参入がなかなか難しくなっていて、相談支援として計画相談の受け入れが難しいという事も含めて、障がい保健福祉課と話し合いをしながら、今後ひとつの案としてはセルフプランの導入に向けた検討というものも必要になってくるのではなかろうかということや、相談支援事業所の事業者の認識を一定化しながら、社会福祉法人の事業への参入を促すと、そういったことを議論していかなければいけないだろうということです。</p> <p>もう一つは、熊本市には9ヶ所の委託支援事業所がありますが、その委託相談支援事業所と熊本市、それ以外の指定特定相談支援事業所との役割ということ、そしてそれを整理しながら連携・分担して対応していくということで、その一環として指定特定相談支援事業所の後方支援もしっかりやっていかなければいけないかなというような話を今後検討していく必要があるというようなかたちで毎月会議を進めております。</p> <p>2枚目、3枚目に関しては参考資料で、ご覧になっていただければと思います。以上で報告を終わります。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。只今の委託相談支援事業所からの報告につきまして、委員の皆様からご意見やご質問ございましたらお願いします。いかがでしょうか。</p> <p>では次の議題に移ります。</p> <p><b>(4) テーマについての協議</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会参加促進等に関する検討会（部会の設置）について</li> <li>・委託相談支援事業に係るモニタリング結果について</li> </ul> <p>まずは事務局から説明をお願いします。</p>

事務局	資料5説明
会長	では、只今の説明につきましてご意見やご質問ございましたらお願いします。
宮田委員	<p>高齢者と書いてありますが、この部分を発達障がいの方や私達の家族であります精神障がい者と置き換えて見たときにそのニーズは何かと言いますと、実は既に厚生労働省が研究されていると思います。</p> <p>2010年10月に関東で関東地域の地域参加、社会参加についてのシンポジウムがありました。私は出席しましたが、その時に厚生労働省の担当の方が2011年度から居場所を提供できるような事業所の形態を考えると、これはほとんど決まっていますとおっしゃっていましたが、実際には制度にならなかったんですね。</p> <p>2012年にむつみ会で当事者会、それから当事者団体等とも協議しました。今、何が必要かという居場所がほしいと。地活は比較的あの頃ありましたが、知的障がい者又は身体障がい者の方の地活は活発なのに対し、精神だけに特化した所はなかったんですね。それで、居場所がほしいという事で追求しましたが、結局、誰が、いつ、どこでそうした居場所を提供するのかということについては、出てきていませんよね。これから検討されるということなんでしょうけれど。誰が、いつ、どこで提供するか、その具体的な例は、私は地域活動支援センターではないかと思うんですね。</p> <p>既にいんくるさんや青空さんなど、非常に具体的にやっておられる、そういう形態が一番いいのではないかと思います。簡単に作れない事があるんですね。地活はいきなりは作れないんですよ。熊本市にもだいぶ協議してお願いしました。むつみ会でも作りたいけれども、まず地活になるためには、以前の制度である小規模作業所、共同作業所をしなければいけない。定員が多ければ290万円ですけれども、小さければ145万円しかやりませんよと、その前に1年から2年くらいの準備期間で具体的に集まっていないといけません。そういうのはどこからお金が出るんですかね。実質、今の制度では新しい地活は作れないんです。政令市として、地活をいきなりポンと作れるような仕組みが作れるのかどうかの検討をして頂かないと。いつ、誰が、どこで、どのような事業所等の形態であるのか、5区のそれぞれの公民館等の活動であるのか。それは多分長続きしません。そういうことをご検討いただければと思います。</p> <p>代表例は東京都の国立市だったと思います。棕櫚亭という所がB型と就労移行とグループホーム、地活4つを組み合わせ、相互に出たときにどこかに属しているときに給付を出すという事で国立市も認めているんですね。その方の調子に応じてどこに出るかというのを決める、それでもちゃんと給付を出しますと。もう一つは札幌市にありますピアデザインというところ。こういう所が居場所については非常に先駆的な事をされています。それから、熊本市内にあるここに</p>

	<p>おいでのA型やB型の事業所の皆さんも、これはなかなか難しいなと思われる方をあえて受け入れて下さって、その居場所というのを実現されていらっしゃるんですね。</p> <p>居場所制について、居場所感をもってもらうことについて、きちんとした掘下げをしないと、どこにニーズがあるかはっきりと見えないと思います。作業班の委員の方をお願いしたいのは、自分がそこに居ていいんだと確かめる事ができるような場所、制度としてはどういう形で事業所が作れるのかの研究を掘り下げてやって頂きたいと思います。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。居場所づくりをということですね。それについていかがですか。</p>
事務局	<p>貴重なご意見をありがとうございます。</p> <p>資料の裏にあります今後の進め方というところでご確認を頂きたいのですが、検討会1回目が4月に行われてまして、2回目が今月末にあります。5回目で検討会としての一つの結論を出すという事になっております。資料の前段の部分にさくらカードのあり方についても検討と書いてあります。おそらく2回目の検討会までは高齢者の社会参画は何ぞやというようなところで進みつつ、3回目以降についてはおそらく中心議題がこのさくらカード制度のあり方はいかなるものかというようなところに移ってくると思います。</p> <p>今私共がやっておりますのは、社会参加と言いましても障がい者と高齢者では社会参加の意味合いそのものが全く違う。障がい者の社会参加は生活そのものだろうというような視点で、さくらカードがどうあるべきなのかというところに繋がってくると思います。</p> <p>今、大変貴重なご意見を頂いたところだったんですが、そこまでの広がりというのはこの回数では難しいのかなと理解しております。</p>
宮田委員	<p>さくらカードはツールでしょう。道具ですから。そのバスが行き着くところがどこなのかというのが決まらないと。どのバス停で降りて、バス停のところどんな事業所があって、どんな活動ができるのかという事が具体的に明らかにならないと、この制度をやってもなかなか出てこないですよ。</p> <p>障がい者の人たちが居場所だと思えるようなものを作らないと、バスをつくる、雨の日に傘をさす、誰かが支援に付いて行くというツールを作っても行き着くところが無いから目的達成できないと。そのあたりを掘り下げて検討して頂きたいと思います。意見です。</p>
事務局	<p>分かりました。少ない会議ではありますが、また部会の中でもそういった部分を検討しながら検討会上げていくことができたらと思っております。</p>
会長	<p>ありがとうございました。他どうですか。部会の方で検討して検討会に提案していくというようなことになると思うんですが。この部会のメンバーというのは</p>

	<p>だいたい決めてあるということになるんですか。これから、ご連絡して決定されていくということになるんですか。</p>
事務局	<p>相談はさせていただいているというようなところでございます。</p>
会長	<p>障がいも違っても状況は違うのかなと思ったりしますので、なるべく部会で検討したのを検討会に反映していきたいと思っておりますので宜しくお願いします。</p> <p>ではよろしいですか。他に・・・</p>
宮田委員	<p>居場所制については、居場所の受け皿とかについては調査研究が必要ですからということで、実は2013年にむつみ会で厚生労働省に対して応募しましたが、任意団体ではだめなんだそうです。自治体かあるいは社会福祉法人等が対象で、かなり詳しい具体的な提案もしましたが、むつみ会はだめですと。その代わり厚生労働省は居場所制や居場所感、障がい者の人の居場所について研究事業をされるんですかと聞いたら、応募が無いからしませんと。</p> <p>その辺は、例えば熊本市がもし調査等をされるという事であれば、外郭団体どこでもいいです、そういうところで厚生労働省からお金を取って50万なら50万、100万なら100万の調査をきちんとしてニーズ把握をしないと空振りになると思うんですよ。その辺は是非熊本大学とか学園大学とかあると思いますから、そういう所と提携して是非実現してください。お願いします。</p>
会長	<p>ありがとうございました。他、いかがですか。</p>
事務局	<p>先ほどの補足ですが、今後の進め方の所に30年7月28日はワークショップと書いてあります。先ほど部会の話もしましたが、このワークショップは一般公募いたします。これは全体のワークショップですから、障がいの有無など関係なく一般公募致します。ただ、バランス良く構成したいので、その点団体の方にはご参加をお願いすることがあるかと思っておりますので宜しくお願いします。</p>
会長	<p>ではよろしいですか。他になければ次のテーマに移ってきたいと思います。</p> <p><b>(4) テーマについての協議</b></p> <p>・委託相談支援事業に係るモニタリング結果について</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料6 説明</p>
会長	<p>では、今の説明に対してご意見、ご質問ありましたらお願いします。</p>
宮田委員	<p>ネットワークづくりをされる時にどういった事がポイントになるかということについて何かお考えがあるかどうか。</p> <p>実は私、福岡県の筑豊地域のある市のネットワークづくりについての分析を福岡県の健康保健部の方と一緒にやったことがあるんです。</p> <p>その時のポイントはまず理念ですね。何を目的にネットワークを作るのか、かなり出ていますからしっかりしたものがあるんですけども、構成の方がしっか</p>

	<p>りその理念を検討し、よく考えるということ。構成員は是非、特に熊本市の現場の若い職員を出してください。係長とか補佐とか課長クラスの人が行っても話はまとまらないです。形になっちゃうんです。現場の方を特に出してください。若い方、今年入所された方でもいいです。若い方のほうが新しい勉強もしたいと思っているし、意欲もあるし体力もありますので、そういった人で構成すること。</p> <p>もう一つは体制ですね。段階的にやっていくのか、3回くらいするなら3回をどういった構成で議論していくのかといったところを組み立ててから是非取り組まれて成功して頂きたいと思います。宜しくお願いします。</p>
会長	ではご意見ということでよろしいでしょうか。
勝本委員	<p>事前に質問を致しました勝本です。</p> <p>只今のご説明を頂いたところなんですけど、私が多分まわりくどく文章にしてみましたので、ポイントが分かりにくかったのかもしれない。私の質問の中でセンターのみならず（センター任せではなく）という、ちょっと表現に問題があるかもしれませんが、相談支援機能強化事業の中の②と③のところですね。質問の表のところにも書いてありますが、ABCそれぞれセンター数のばらつきがあるところに着目したわけです。</p> <p>先ほどもお話がありましたように、やはりなかなか人員的な体制上の問題から、退職なさって減算があったというようなさっきお話があったと思いますが、センターの問題なのか、このばらつきのところですね。それぞれのセンターの力量とかマンパワーとかそういったところにこのばらつきの問題があるのか、各区役所の取り組み方や連携の仕方、そういったところに何か要因があるのか、それが分かれば教えていただきたいというようなところを意図したものですから。</p> <p>長々と書きまして分かりにくかったと思いますけれど、その辺の、センター数のばらつきについて、そこに着目して書かせていただいた訳ですが、いかがでしょう。</p>
会長	いかがでしょうか。今の質問については、センター数のばらつきがどうして生じているのかということだと思っております。
事務局	センター数のばらつきということでご質問を頂いておりますが、それぞれの事業所の能力の問題というよりも、ネットワーク会議でしたら事業所の数でしたり構成メンバーでしたり、その辺のばらつきも各区でございまして、なかなかはっきりした分析ができていないんですけれども、その辺については再度内容を精査させていただいて、今後B評価C評価の所がA評価につながるように検討させていければと思います。
会長	よろしいでしょうか。
事務局	頂いているご意見の中でネットワークという言葉がよく使われておまして、

	<p>ネットワークはできていますよというような認識が行政にも事業所にもあるのではないかと考えておりますが、ネットワークというのはつながってこそネットワークであって、会議体で集まって輪になったらネットワークだよというのは、それはちょっと違うだろうと思うんですよね。だから、はたして会議体としては存在しているけれども、ネットワークとして成立しているかどうか、本当に深くつながっているかどうかは行政側、事業所側含めてもう一回検証させて頂きたいと考えております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他よろしいですか。</p> <p>それではその他に移りたいと思います。</p> <p>・委員から寄せられた各種課題の整理について</p>
事務局	資料7説明
会長	<p>今の説明についてご意見、ご質問ありましたらお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>・震災対処実働訓練【福祉（子ども）避難所】の実施について</p>
事務局	資料8説明
会長	今の説明についてご意見、ご質問ありましたらお願いします。
西委員	<p>本日は自閉症協会の方がご欠席のようなので、参加した団体の代表ということでお話をさせて頂きたいと思います。</p> <p>今回の訓練は市役所側から事前にあくまでも今回は受け入れ側の体制に対する訓練でございますということはお聞きして当日臨んだわけですが、将来のことを考えると、これからまた各区で何回も実践により即した形で、いろんなアクシデントが起こる可能性がたくさんあると思うので、それに対応できるような形と繰り返しの訓練を是非継続して、各区での訓練を続けて増やしていただけたらなというふうに思いました。</p> <p>実際参加してみて、2年前ああだったな、こうだったなと思い出しながら皆な避難をしたんですけれども、その時の状態とは全然違いかたちで事が進んでいきまして、行ったらまず「育成会さんですよ」、「自閉症協会さんですよ」と、顔見知りの方もたくさんいらっしゃいましたので、「まあどうぞこっちに」という感じでVIP待遇だったわけですよ。ただ、実際に避難した場合は誰が育成会とか誰が障がい者とかわからない、内部障がいの方ももちろんいらっしゃるわけですから、そういう方々をいかに入り口でさっとトリアージして次の福祉避難所に移動させたりを決めるかどうかというのが、なかなかそういうふうな事が難しいのではないかと思いました。今ご紹介ありましたけれども、現場にある程度責任を持たせるような形が緊急時には必要ではないかと本当に思いました。</p> <p>アクシデントといいますと、一般の避難訓練ということで地域の目が不自由な方が白杖を持って参加なさっていたんですけれども、その方はスルーされて一般</p>

	<p>の方々の中に紛れていらっしやいました。お話をたまたま聞いたら、以前こういうことがあったから「参加しなくちゃと思って自分は参加しました」とおっしゃっていました。そういう方もいらっしやったというのを含めて、いろんな形で繰り返しの訓練をお願いしたいと思っております。以上です。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。今現在まだ協定まで至っておりませんが、協定の際は、必ず福祉（子ども）避難所を開設する特別支援学校で、実際の災害でこうなるであろうと、ある程度の混乱まで考えたところで進めて参りたいと思えます。宜しく申し上げます。</p>
会長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p><b>■委員からの取り組み等紹介</b></p> <p>最後に自立支援協議会の趣旨の一つとして関係機関同士の連携強化とか情報共有がありますので、この本会議の場で委員の方からその取り組みについてご紹介を頂いています。今日はお二人の委員の方に紹介して頂きます。時間の関係で2分程度で手短にご紹介頂けたらと思えます。</p> <p>まず熊本市障がい者相談支援センター アシストの中島委員をお願いします。</p>
中島委員	<p>熊本市障がい者相談支援センター アシストは母体が北区にあります精神科の病院で弓削病院というところです。</p> <p>うちの事業としては相談の方ありますけれども、児と者の指定特定と指定一般と基本相談というところでさせていただいております。</p> <p>今年4月から事業所が北区の弓削から北区龍田に移転しまして、浸透率では今からかなと思っているところです。</p> <p>地図を見ていただくと分りにくいところはあるかと思えますけれども、旧57号線沿いにあり、通りに面しておりますので宜しくお願いします。</p> <p>合わせて、ホームページ、Facebookも開設しておりますので興味のある方は見ていただければと思えますので宜しくお願いします。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。続きまして熊本県ホームヘルパー協議会、田尻委員をお願いします。</p>
田尻委員	<p>こんにちは。熊本県ホームヘルパー協議会の副会長をしております、田尻といいます。会長が人吉ですので、熊本市の事に関しては私が担当させて頂いております。</p> <p>熊本県ホームヘルパー協議会は4月1日時点で、県内146事業所で、会員数が268名おります。年に5回から6回程度、これは会員以外の方にもご案内を出しておりますが、研修会等を実施して専門的な知識とサービスの質の向上に努めております。</p> <p>あと、年に2回程度、上部団体の全国ホームヘルパー協議会研修にも参加しております。私達ホームヘルパーは、在宅で生活をされる高齢者や障がい者の皆様</p>

	<p>のご自宅を訪問して身体介護や生活援助サービスを提供する、在宅ケアの最前線と最後の砦を担う専門職として誇りを持って仕事をしております。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように、また、一人暮らしのご利用者様には一番身近な存在として地域包括ケアシステムの一翼を担い、他の職種の方や地域の方と連携しながら積極的に社会的役割を果たしているところです。今までもそうですが、これからも一人ひとりのヘルパーが意欲と誇りを持って働ける介護現場を目指していくためにも、皆様のご理解とご協力を今後とも宜しくお願い致します。ありがとうございます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。以上で本日の全ての議事が終了しました。それでは事務局にお返しします。</p>
<p>事務局</p>	<p><b>3 事務局連絡</b></p> <p>干川会長、ありがとうございました。</p> <p>ここで事務局より委員の皆さまにご提案させていただきたいと思います。</p> <p>本協議会の開始時間についてでございます。前回の会議の際、本田委員より交通状況や体調等に配慮するため、会議の開始時間を早めてはどうかとのご提案がございました。この場で委員の皆さまにご意見いただき、異議等なければ次回からの開始時間を14時半に変更させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは次回、平成30年度第2回の熊本市障がい者自立支援協議会は8月17日(金)14時半から、開催場所は市役所別館自転車駐車場8階会議室とさせていただきます。</p> <p><b>4 閉会</b></p> <p>これもちまして、平成30年度第1回「熊本市障がい者自立支援協議会」を終了いたします。</p> <p>長時間に亘るご審議ありがとうございました。</p>